

なぜ、いま、 フェミニスト経済学か

参加
無料

私たちは、すべての人のウェルビーイングの実現をめざしケアを中心にすえた経済学を構想するという熱い想いを抱いて、2023年10月3日、『フェミニスト経済学——経済社会をジェンダーでとらえる』（有斐閣）を上梓しました。本シンポジウムでは執筆者が各領域からフェミニスト経済学の視点を語り、参加者のみなさんとの対話を通じて、研究と実践の両面からフェミニスト経済学の広がり可能性について考えたいと思います。学生の皆さんの参加も大歓迎です。多くの方々のご参加をお待ちしております。

申し込み締切：2023年12月15日（金）15:00まで

日時

2023.12.16 土

14:00～16:30（13:30開場）

場所

専修大学神田キャンパス1号館3階302教室

（東京都千代田区神田神保町3-8）

会場参加およびオンライン配信（Zoomウェビナー）

アクセス



・水道橋駅（JR）西口より徒歩7分

・九段下駅（地下鉄／東西線，都営新宿線，半蔵門線）出口5より徒歩1分

・神保町駅（地下鉄／都営三田線，都営新宿線，半蔵門線）出口A2より徒歩3分

お申込

会場参加：<https://forms.gle/1cnS4TBFfSYW7DUTA>



オンライン配信：https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_BFPHhEfZQUuMz7HUq0up1A



『フェミニスト経済学』出版記念シンポジウム
なぜ、いま、フェミニスト経済学か

プログラム

司会進行

長田華子（茨城大学人文社会科学部准教授）

報告者

金井郁（埼玉大学大学院人文社会科学研究科教授）

山本由美子（岡山大学グローバル・ディスカバリープログラム／大学院社会文化科学研究科准教授）

市井礼奈（ロイヤルメルボルン工科大学大学院講師）

李素軒（帝京大学経済学部講師）

古沢希代子（東京女子大学現代教養学部教授）

主 催

金井郁研究室（埼玉大学）

後 援

杉橋やよい研究室（専修大学）

第1部 執筆者からの報告：なぜ、いま、フェミニスト経済学か【14:00～15:40】

- ・「ソーシャル・プロヴィジョンング・アプローチからみた日本の男性稼ぎ主型モデルのゆくえ」金井郁
- ・「ケアエコノミー（ケアを中心にすえた経済）を実現するために」山本由美子
- ・「ジェンダー予算——民主的で開かれた政策プロセスの構築に向けたオーストラリアの取り組み」市井礼奈
- ・「金融化と金融危機——ジェンダー観点のある政策対応を求めて」李素軒
- ・「すべての生命へのケアへ——セクシュアル・リプロダクティブヘルス／ライツと自然生態系への眼差し」古沢希代子

第2部 参加者との対話～研究と実践からフェミニスト経済学の可能性を探る【15:50～16:30】



*会場にて『フェミニスト経済学』の割引販売をいたします。

定価4,070円→特別頒価3,300円
